

単元名 ボール運動(ネット型)ミニテニス (攻守一体プレイ)

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) ネット型では、その行い方を理解するとともに、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすることができる。
- (2) ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしようとする。

標準的な展開例

05100206_001

【準備等】ミニテニスボール（少し大きめの柔らかい素材のボールなど）、ミニテニスラケット（段ボール等での自作ラケットなど）、学習カード、学習資料など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ミニテニスのねらいと内容を確認し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 ★チームで連携して、相手が捕りにくいボールを打ち返そう。 ○学習カードや資料の使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○グループを編成し、役割を分担する。 ○ミニテニスに関連した、体ほぐしの運動をする。 ○試しのゲームをし、めあてをつかむ。 <p>2～4 ミニテニスのボール操作を経験し、ゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体ほぐしの運動をする。 ○ラリーゲームをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・2人組でネットをはさんでのボール交換、近い距離からだんだん遠く離れて行うなど。 ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、対戦相手 ○チームの課題や作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習する。 ○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題、作戦、ルール、マナーなど <p>5～6 チームに合った作戦を工夫してゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体ほぐしの運動をする。 ○ラリーゲームをする。 ○チームの課題や作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習する。 ○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・めあて、作戦、練習方法、ルール、など <p>7～8 ミニテニス大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体ほぐしの運動をする。 ○ミニテニス大会をする。 ○第8時は、単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットを挟んで、攻撃と防御が一体となっているゲーム様相のなかで攻撃を考えたり、防御を工夫したりしてボールを打ち合うゲームの特性を確認する。 ・用具は、ミニテニス用のラケットや段ボール等を手のひら大サイズに加工したりしたものを使用する。 ・1チーム4～6人、男女混合で編成する。 ・コートはバドミントンコートのサイズを目安とする。 ・1チーム1～3試合行う。（ダブルス） ・1試合6分（2分×3ゲーム）程度行う。ダブルスの交代制で行う。 ・ストローク、ボレーなどについてルールを簡易化したゲームを行う。 ・いろいろなチームと対戦することを知らせる <p>〈ルールの例〉</p> <p>サーブはどこから打ってもよい、ネットの高さを調整する（コーンバーで作成する）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を立てられないチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、チームの課題に合った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 <p>【評】チームで協力してゲームをする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を立てられないチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、チームの課題に合った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 <p>【評】チームに合った課題をもって練習する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームに合った作戦を立てさせる。 <p>【評】ゲームを通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームでの話し合いや学習カードによる自己評価などをさせる。

【 備 考 】

ネット型では、その行い方を理解するとともに、ボール操作と、チームの作戦に基づいた位置取りをするなどのボールを持たないときの動きによって簡易化されたゲームを行う。軽くて柔らかいボールを片手、両手もしくは用具を使って操作したり相手が捕りにくいボールを返球したりするチームの連携プレイ、自陣から相手コートに向かって相手が捕りにくいボールを返球する手段や用具などを使う。用具などを使った簡易化されたゲームの例示として、バドミントンやテニスを基にした簡易化されたゲームが示されている。

ミニテニスは、ネットを挟んで攻撃と防御が一体となっているゲーム要素の中で、攻撃を考えたり、防御を工夫したりしてボールを打ち合うゲームである。本単元では、基礎技能をラリーゲームなどで楽しく身に付けさせ、簡単な作戦を立て、いろいろなチームとゲームを行う学習と、対戦相手を決め、自分たちに合ったルールや作戦を工夫してゲームを行う学習を設定した。

用具は、ミニテニス用のラケットを用いたり、段ボール等を手のひら大サイズに加工・補強したりしたものを使用する。またボールは、テニスボールより少し大きめの柔らかい素材のボールを使用する。ネットに関しては、コーンバーで設置したり、体育館で行う場合はバドミントンの支柱とネットで高さを調整したりして使用する。

＜運動が苦手な児童への配慮の例＞

- ・用具を使って、相手コートにボールを打ち返すことが苦手な児童には、飛んできたボールを短時間保持することを認めたり、うまくはじくことができる児童と比較してどこが違うか考える場を設定したりするなどの配慮をする。

- ・自陣のコート（中央付近）から相手コートに向けサービスを打ち入れることが苦手な児童には、手を使って投げ入れたり、軽い用具や柄の短い用具を用いたり、軽いボールを用いたり、一歩前からサービスをすることを認めたり、ネットの高さを低くしたりするなどの配慮をする。